

教育懇談会の結果について

【教育懇談会概要】

○ 目的

市民と教育委員会が、学校教育や文化、スポーツ、生涯学習等について意見交換を行い、本市の教育に活かすことを目的として毎年、実施しているもの。

○ 内容

- ・日 時 10月27日(土) 午後1時30分～午後4時00分
- ・テーマ 「宮っ子のルールやマナーを考える」
- ・対 象 小学生(6年生5名)、中学生(2年生10名)、高校生(21名)

1 「宮っ子の誓い」について

全体会で、起草委員会で作成した案を示し、ルールやマナーに関連のある「きまりを守るすなおな心」、「弱い人をいたわる心」の部分を中心に意見をもらった。

宮っ子の誓い【例】

- 1 「宮っ子」は、きまりを守るすなおな心を広げます。
- 2 「宮っ子」は、夢に向かってやりぬく心を広げます。
- 3 「宮っ子」は、弱い人をいたわる心を広げます。
- 4 「宮っ子」は、美しいもの愛する心を広げます。

(1) 内容

- 「きまりを守るすなおな心」と言われても難しい。大人が、整えられる環境をしっかりと整えてほしい。
- きまりを守ることの必要性について考えさせることも大切。
- 「宮っ子」の意味は、子どもを対象としているが、きまりを守る素直な心を育てていくためには、大人こそがしっかりとした行動をしていくことが大切。

(2) 表現

- 「弱い人」ではなく、「相手」という言葉の方がよい。「弱い人」は、差別的な表現ととらえられ、また、強い人でも悩みはある。

(3) 活用方策

- 給食の牛乳、ゼリーの蓋などに印刷し、日常的に目に留まるようにしてはどうか。
- 友人同士の小さな輪から広げられるような工夫が必要。
- 宇都宮市の目標として、学校から実践していくとよい。
- 大人が見本を見せて、実践していくことが必要。
- 誰でも耳に入るように、街の中でアナウンス(ラジオ)をする。

2 「宮っ子のルールやマナー」に係る子どもの意見

	小学生	中学生	高校生
ルールやマナーの現状	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと大人との間に、ルールやマナーについての認識や基準に差がある。 ○「守れる子ども」と「守れない子ども」の二極化がある。 ○自分たちのマナーの悪さに気付いていない。 ○子どもが気を抜いているのではないか。 ○自分自身も身に付いていない。 		
必要なルール・マナー定着度	<ul style="list-style-type: none"> ○人の話をしっかり聞くこと ○公共の場のルール・マナー（ごみのポイ捨て） ○交通ルール（自転車の乗り方） ○言葉づかいのマナー、礼儀（目上の人） 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通ルール（自転車） ○服装の乱れ ○言葉づかい ○携帯電話の使い方 ○時間を守ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通ルール（自転車） ○公共の場のルール（携帯電話、図書館の本、電車、バス） ○あいさつ ○ごみの分別 ○年寄りや子どもへの手助け
ルール・マナーを身に付ける方法	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間づくりを進めるための話し合う場の設定 ○相手の気持ちに共感できる体験活動等の推進 ○大人の協力 ○目標の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレット配布 ○正しい言葉を学ぶ講習会開催 ○地域ぐるみの活動実施 ○サイトの管理 ○取り締まりの強化 ○家庭での啓発 ○地域の協力による啓発 ○ルールの唱和 ○生徒同士による注意の喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中での環境づくりの工夫 ○ルール、マナー定着のための学校における活動（仲間づくりの実施） ○ルール、マナー必要性の理解 ○大人による注意の喚起 ○条例を決定 ○子どもの意見を取り入れた啓発